

# 委託業務特記仕様書（令和6年5月1日以降適用）

## （共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

## （共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

委託業務共通仕様書について

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

## （共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

## （成績評定の選択制（試行））

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満及び、変更契約で業務委託料が100万円を超えた土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、除草、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務（土木）成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務（土木）成績評定の選択制試行要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215929/>

## （受発注者共同による品質確保）

- 第5条** 重要構造物（橋梁、トンネル、樋門、砂防等）設計や、補修設計において、必要であると判断された場合は、情報共有（設計条件の留意点、関連業務の進捗状況、設計変更の提案等）・設計方針の確認を目的とした、合同現地踏査等の発注者、受注者（測量、地質、調査、設計）で設計条件・方針を確認できる場を設けることができるものとする。
- なお、費用及び参加者等の詳細については、監督員と協議の上、決定するものとする。

## （ウィークリースタンス）

- 第6条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。
- (1) ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）

- (2) マンデー・ノーペリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

#### **（Web会議【発注者指定型】）**

**第7条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web会議（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

#### **（Web検査【発注者指定型】）**

**第8条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「Web検査（発注者指定型）」の対象業務であり、別に定める「Web会議実施要領」を適用する。

- 2 Web検査は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施の範囲等を決定するものとする。

Web会議実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/5035846/>

#### **（業務箇所への遠隔臨場【受注者希望型】）**

**第9条** 本業務は、建設DXによる業務の効率化を目的とした「遠隔臨場（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「委託業務における遠隔臨場に関する実施要領」を適用する。

- 2 受注者は、遠隔臨場の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

委託業務における遠隔臨場に関する実施要領

徳島県HP <https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7215928/>

#### **（情報共有システム活用業務【受注者希望型】）**

**第10条** 受注者は、情報共有システム（以下「システム」という。）の活用を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、システム活用の試行対象業務（以下、「対象業務」という）とすることができる。

- 2 対象業務は、次のURLにある「情報共有システム活用試行要領について」を適用することとする。

情報共有システム活用試行要領

徳島県CALS/EC <https://e-denshinyusatsu.pref.tokushima.lg.jp/cals/category/download/jyouhoukyouyuu/>

#### **（CIM活用業務【受注者希望型】）**

**第11条** 本業務は、CIM（Construction Information Modeling, Management）を活用し、建設生産・管理システム全体の課題解決および業務効率化を目的とした「CIM活用業務（受注者希望型）」の対象業務であり、別に定める「CIM活用業務試行要領」を適用する。

- 2 受注者は、CIM活用業務の実施を希望する場合は、業務着手時の打合せにおいて発注者と協議し、実施を決定するものとする。

**(本業務の特記仕様事項)**

**第12条** 本業務における特記仕様事項は、次のとおりとする。

1. 業務目的

本業務は、一般県道芥附海部線において周辺環境の現況を把握し、道路改築による周辺環境への影響を検討する基礎資料を得ること及び保全措置のモニタリング等を目的とする。

2. 業務位置

海部郡海陽町小谷～櫛川（道路計画延長L=2.3km）

3. 業務項目及び数量

(1) 打合せ協議 3回

(2) 計画準備

(3) 植物調査

現地調査・・・・・・・・・・3季

環境保全措置の実施・・・3回

(4) 湿地環境調査

現地調査・・・・・・・・・・2回

(5) 猛禽類調査・・・・・・・・・・5回

(6) 生物事業認定資料更新作業

4. 業務内容及び方法

(1) 打合せ協議

1) 業務着手時 : 業務全体の内容確認

2) 中間協議 : 中間報告（1回）

3) 成果品納入時 : 成果品の内容確認・提出

(2) 計画準備

本業務を実施するにあたり、業務計画書を作成する。また、対象種について既往報告書を確認し、状況等を把握・整理し、業務実施の準備を行う。

### (3) 植物調査

重要な種のツチグリカンアオイ（カンアオイ属の一種を含む）、タヌキマメを対象とし、モニタリング調査を実施する。

#### 1) 現地調査

保全措置として移植したツチグリカンアオイ・カンアオイ属の一種を対象に、春季に生育状況を確認し、周辺環境の状況および変化の有無も合わせて記録を行う。また、近隣の自生個体（ツチグリカンアオイ）についても生育状況を確認記録する。

タヌキマメは既往調査で生育が確認された1箇所、および保全措置として移植（播種を含む）した6箇所について、夏季と秋季に生育状況（開花・結実等）を確認し、周辺環境の状況および変化の有無も合わせて記録を行う。

#### 2) データ整理・とりまとめ

現地調査で取得したデータの整理とりまとめを行う。

#### 3) 保全措置の実施

伐採地に生育するツチグリカンアオイ（カンアオイ属の一種）の個体を移植する（花期と夏季を除く）。タヌキマメは10cm以上生育した個体を初夏に採取・移植するとともに、栽培と採種を行い、冬季に現地へ播種する。

学識者の助言を踏まえ、保全措置を実施する。

#### 4) 保全措置実施結果の整理

実施した保全措置の結果をとりまとめる。

#### 5) 学識者ヒアリング

現地調査と保全措置の結果について、学識者の助言を受ける（1回）。

#### 6) 報告書作成

植物調査の結果を整理し、適切な図表とともにわかりやすくとりまとめる。また既往調査結果も踏まえて、保全措置の効果を検証する。

### (4) 湿地環境調査

既往調査で確認された重要な湿地環境についてモニタリング調査を行い、今後の保全措置のための基礎資料を得る。

#### 1) 現地調査

ハッチョウトンボを対象として、初夏～夏季に2回調査を行う。湿地環境におけるハッチョウトンボの利用植生および行動を詳細に記録する。また、その他トンボ類の繁殖行動や湿地環境の状況についても記録を行う。

#### 2) データ整理・とりまとめ

現地調査で取得したデータの整理とりまとめを行う。

#### 3) 報告書作成

現地調査の結果を整理し、適切な図表とともにわかりやすくとりまとめる。

(5) 猛禽類調査

重要な猛禽類を対象とし、生息状況を調査する。

1) 現地調査

事業実施区域周辺において、5～8月に各月1回（3地点3日間）、2～3月のうち1回（3地点3日間）、定点調査により双眼鏡や望遠鏡を用いて、猛禽類の確認位置や指標行動等を記録する。生息個体について望遠レンズ等を用いて写真撮影を行い、個体識別に努める。営巣の可能性のある場合には林内踏査等により営巣地の特定に努め、営巣地が特定された場合には、繁殖状況を確認する。営巣地確認や繁殖状況確認の際には、必要に応じて定点調査から林内踏査等に切り替えて調査を実施する。

2) データ整理・とりまとめ

現地調査で取得したデータの整理とりまとめを行う。月別・日別・個体別等に分かりやすく整理する。また、位置データはGIS等に入力し、報告書の図表作成、解析等に供する。

4) 学識者ヒアリング

調査結果、今後の調査の進め方等について指導助言を得る。

5) 報告書作成

猛禽類調査の結果を整理し、適切な図表とともにわかりやすくとりまとめる。

(6) 生物事業認定資料更新作業

過年度の資料をもとに近年の調査結果等を含めて、資料の更新作業を実施する。既往報告書の確認・整理を行った上で、構成内容や図面等も更新する。作業にあたり参考とする図書・内容等の詳細については、発注者から別途指示する。